

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ニコちゃん家		公表日	2026年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	0	1日の利用者数を多くならないようにスペースに合わせて調整している。利用者同士の関わりができるよう、移動が自由にできるようスペースが十分にあると思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	2	身体状態の急変などに対応できるよう、規定より多く配置してもらっている。基準より多くケアと活動の両方を担えるようにしている。	医療度の高いこどもが多い中、スタッフ（特に看護師）が少なく感じるときがある。リスクは高まってしまうので、その日、時間帯ごとのスタッフ配置を注意深く見直していくように心がける。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0	毎日片付け、水拭き、掃除を徹底しており過ごしやすい環境作りに努めている。広間の床は木材のため、人・ペット等にも害をもたらさず除菌できるものを使用している。	床が木で一般のアルコールや次亜塩素での消毒ができないため、ノロウイルスなどの感染対策が取れないように感じて不安がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	個室が2部屋あり、必要時利用している。	年齢が低いうちは急な発熱や、咳込みなどが多いため、感染対策をとり、蔓延しないように注意していく必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0	月1回の全体MTG、通所MTGを実施しておりほぼ全員に周知している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	月1回のミーティング時に全体で共有し、改善へつなげるよう努力している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	定期的に個別ミーティングを実施し、職員の意見を把握している。また、職員からの相談は随時受けており、業務改善へ取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	8	第三者を特定してはいないが、来客者や普段から関わりを持っている事業者などから意見をもらうことはある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	法人内での研修に加え、個人で探してきた研修も進んで参加している。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0	HPに公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0	保護者との面談日は設けていないが、必要に応じて聞き取りや面談を実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	毎月行われている通所mtgで、職員間での共有、検討など実施している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	2	標準ツールは当てはまらないため、一人一人に応じたアセスメントや行動観察をおこなっている。	医療的ケア、知的・身体機能など、個別性がとても高いため、個々に行動を分析できるチェックリストを作成していく必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0	活動プログラム担当を決めて、計画実施している。様々なイベントやワクワクする遊びなど固定化しないように工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	グループチャットなどで、事前に情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	11	5		送迎や居宅支援に向かうスタッフもいるため、終了後の振り返りは十分とは言い難い。気づいた点は随時共有し、必要に応じグループ電話などを活用しながら振り返り、共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	記録は必ず共有し、検証、改善へつなげている。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	2	イベントやつきに1回の催し物、「つきいち」などを通して、地域社会へ開かれた空間になるように意識している。地域の中で、みんなと一緒に育つ環境作りをサポートできるよう努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	5	相互の情報共有はできており、必要に応じて助言をいただいている。	全職員への周知ができていないため、mtgなどで話していく必要がある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	0	園との交流はないが、イベントなどで地域のこどもと関わる機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	2		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	1		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1	イベントなどを行い、保護者と話しやすい環境づくりを心がけている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	1	適切に丁寧に誠意をもって対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	1	ニコフェスや、餅つきなど、地域の皆さんを招待している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1	各マニュアルを策定し、職員には周知しているが、ご家族への周知はまちまちである。	ご家族にもしっかり周知していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	1	BCPを策定しており、職員同士で共有し、災害時の備えや訓練、研修を実施している。	継続していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1	常に保護者との情報共有を図っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	2	アレルギー等の確認は契約時に保護者から聞き取りしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1	設備点検（年2回）、児童、職員を含めた避難訓練、衛生指導、虐待防止などの研修を実施している。	今後も継続していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	1		計画を立て取り組んでいるが、ご家族への周知はまちまちであるため、来年度はしっかり周知していきたい。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	1	ほんの小さな「ヒヤリ」「ハット」でも、報告にあげている。その都度共有し、毎月2回実施の全体NTGでも振り返り、多くの意見を聞き対策、再発防止に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	1	身体拘束の対象はいないが、今後必要時は保護者と相談しながら計画していく。	